

2015年12月15日から2021年12月31日までの間に、京大病院でMRI検査を受けられた患者さんへ

研究に関するお知らせ

京大病院では画像診断のさらなる発展のため、検査結果の画像や所見を後日研究目的で使用する場合があります。研究のために当日の検査内容が変更されたり追加されたりすることはありません。

- 仮に研究に使用されても住所・氏名等の個人情報が公開されることはありません。
- 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織に帰属します。

以上をご理解ください。

- (1) 研究名：圧縮センシングを用いた高時間解像度乳房ダイナミックMRIの解析 臨床データをを用いた画像処理解析の後方視的研究
- (2) 本研究の審査：本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。
- (3) 研究機関の名称・研究責任者の氏名：京都大学大学院医学研究科放射線医学講座(画像診断学・核医学)・片岡正子
- (4) 研究の目的：乳房造影MRIは撮像装置の進歩により、高速でより詳細な撮影が可能となりましたが、その画像データの最適な再構成・解析およびその情報を用いた診断法について検討します。
- (5) 研究実施期間：研究機関の長の実施許可日からから2024年3月31日まで。
- (6) 対象となる試料・情報の取得期間：2015年12月15日～2021年12月31日までに当施設で特定の3TMRI装置および撮像法を用いて乳房造影MRI検査を受けた患者さんのMRI画像
- (7) 試料・情報の利用目的・利用方法：匿名化したMR画像を専用のソフトウェアで再構成・解析し、画質の最適化や定量データ情報を用いた診断法を検討します。個人情報保護：研究に関わる関係者は、個人情報の保護について、適用される法令、条例等を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力をばらい、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。データを院外に出す際にはその前に匿名化することで当該実施医療機関外の者が研究対象者を特定できないようにします。匿名化されたデータで用いるIDと診療用患者IDとの対応表は、院内KINGネットワーク内の科限定共有フォルダ内に、研究者のみがパスワードをかけたファイルとして保存、厳重に管理します。研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分配慮します。
- (8) 利用する試料・情報の項目：MRI画像および病理を含めた診断内容。
- (9) 当該研究を実施している研究責任者の職名・氏名：講師 片岡正子
- (10) 試料・情報について責任を有する者の氏名：片岡 正子
- (11) 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法：研究対象とならな

いことを希望する方のデータは研究に使用されませんので、当科に連絡すれば解析前であれば、情報の削除が可能です。

- (12) 研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧について：他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧が可能です。以下の相談窓口にお問い合わせください。
- (13) 研究資金・利益相反 1) 研究資金の種類および提供者：本研究に関する資金は運営費交付金を使用、2) 提供者と研究者との関係：無し 3) 利益相反：利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。
- (14) 研究対象者からの相談への対応・窓口：

（研究に関する相談窓口）

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学) TEL:075-751-3760 FAX 075-771-9709

電子メール：nmdioffice@kuhp.kyoto-u.ac.jp

担当者：片岡正子

（京都大学相談窓口）

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 TEL:075-751-4748

(E-mail)：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ご自身の医療画像の研究使用をご承諾いただけない場合は、当教室では書面でのご連絡を受け付けておりますので、上記の研究に関する相談窓口にも、メールか郵送か FAX でのご連絡をお願いします。

ご連絡の際には以下の情報をお願いします。

- ご氏名
- 京大病院の診察券の番号
- 拒否する研究の名称(複数可、「全て」という指定も可)
なお、拒否された場合には検査結果が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることもありません。

また、研究の実施に支障のない範囲で本研究の計画書等を閲覧できます。閲覧希望のほか研究に関しては、上記相談窓口にご連絡ください